

ごあいさつ ~新年度を迎えて~

まちなか環境学習館指定管理は4月より第2期の4年目に入ります。平成23年8月の開館以来、勤めが果たせてきたのは、ひとえに皆様の御理解と、関係各位のご支援、これまで関わっていただいた職員の方々の努力のおかげと感謝いたしております。

しかし一方、ここ数年来の大きな課題として、世話役の高齢化に伴う活力低下のなかで、世代交代がうまく図れない悩みを抱えています。この背景には、高齢化のほか、価値観の変化や、国内外の経済状況の変化による余裕のなさの影響があるのではないかと思います。いずれにしても、第3期指定管理募集があったとして、当法人が元気に手を上げられるかどうか当面の最重要課題です。

さて、宇部市は昨年6月に持続可能な開発目標SDGs未来都市に指定されましたが、その実を上げていくためにも、持続可能な開発のための教育(ESD)の推進が期待される所です。この時代、何となく息苦しさを感ずる地球規模の環境問題に、一人一人がしっかりと向き合い、人類の持続的発展を実現するために、価値観の変更まで含めて、真剣に考えることが求められています。



まちなか環境学習館も従来の狭い環境学習の枠を抜け、より広い範囲のESDを推進して、子ども達の「生きる力」を育むことに貢献しなくてはと考えています。ESDうべ推進協議会もこのような趣旨で昨年4月に設立されました。3月16日には、「持続可能社会実現に向けたESD研修会(総括と展望)」が開催され、昨年度6回の研修会の成果や、自主的にすすめられた環境省フォローアップ事業の6例の成果発表が行われ、活発なディスカッションが行われました。

次年度は学習館の担う環境啓発についても、協議会と連携して、ESDの推進に力を入れ、研修会の開催や出前授業などを通して、無理なく、地道に、一歩ずつ、行政や学校と地域との信頼関係を築いて行きたいと思っております。

心ある皆様の参画、協働を切望します。

浮田正夫(うべ環境コミュニティー)

## 宇部市まちなか環境学習館(銀天エコプラザ)ご利用案内

開館時間：9時～21時 休館日：毎週火曜日、年末年始

【フロア案内】

4F 学習室	
3F ミーティングルーム(大)	
2F ミーティングルーム(小)	
1F 事務室	

### 4F 学習室

静かな環境の中、学習や読書など、無料でご利用頂けます。幅広い年代の方にご来館頂いています。



初めてのご利用の際は「ご利用カード」を作成しますので1F事務室にお越しください。

### 2F 3F

### ミーティングルーム



ご予約受付中!

ミーティングルーム	小(12人程度)	大(30人程度)
9:00~12:00(3時間)	216円	540円
12:00~17:00(5時間)	324円	918円
17:00~21:00(4時間)	378円	1,026円
冷暖房費	60円×利用時間	150円×利用時間
※貸出備品/プロジェクター(スクリーン含む).....各時間帯 1,080円		

ご予約、お問い合わせはこちらまで

宇部市まちなか環境学習館  
TEL 0836-39-8110

4月28日(日)

15:00~  
学習館前集合  
道具不要

## まちなかおそうじ隊募集!

まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードや塩田川、中川などを掃除しています。楽しく「まち」を、きれいにしませんか?  
おそうじ後はお茶会でホッとひと息♪

[まちなか環境学習館 電話 0836-39-8110]



宇部市環境学習ポータルサイト  
「うべっくる」

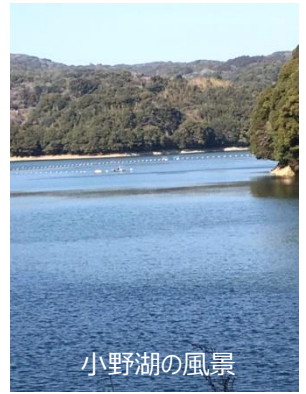
うべっくる 検索

http://www.ubekuru.com

『小野湖のオシドリに異変が・・・』

宇部野鳥保護の会 会長 原田 量介さんにインタビュー

聞き手 山根好子



小野湖の風景

今期も「小野湖のオシドリウォッチング」が10月から始めて3月まで毎月1回、全6回開催されました。インタビューの私は2月17日(日)に参加させていただきました。子ども達を含んだ20名ほどの参加者を案内される原田さんの、生き生きとした姿に魅了され、「もっと話をお聞きたい」と、インタビューをお願いいたしました。大変お忙しい原田さんを訪ねて「県立きさら浜自然観察公園」へまいりました。原田さんは、こちらの公園の園長さんでもあります。野鳥のことは大変詳しいかたですが、今回は「オシドリ」について伺ってみました。

☆ オシドリの今期の飛来数はいかがでしたか？



原田量介さん

毎年10月から3月まで、月1回カウントしているが、11月までは順調に1,000羽を越えて1,300羽くらいまでいたんですよ。それが12月になってガタッと減り始めて、1月2月になると百数十羽になりました。ここ20年で一番少ないですね。小野湖が渇水で貯水率が45%くらいになり、それが原因かなと思ったのですが、過去にもそれに近いほど水量が減ってしまったことがありました。

それでも1,500羽ほどいましたから、どうもそれではないようです。こんな経験は初めてのことです。

その後、いろいろ調べて分かった事は、「餌となるドングリ」が極端に少ないということですね。これが一番の原因です。

前半は「小野湖にはドングリがたくさんあるぞ」と飛来したけれど、だんだんと「あらっ、餌がない！」と餌不足に気づいたのでしょう。それで餌であるドングリを求めて分散したというわけです。残っているオシドリは餌の量に比例して、百数十羽になったということです。オシドリが20年間で一番少ない年と言いましたが、ドングリも一番少ない年になりました。

☆ どうして「ドングリ」は不足したのでしょうか？

正式な、科学的な実験でデータをとって解明した訳ではないのですが、私が小野湖の樹林帯に入るようになって、指標木を4箇所ほど決めてます。それらの木を観て『今年はドングリが多いぞ、とか少ないぞ』と判断しています。シードトラップという正式な調査の方法はありますが、もう長い間観察しているのだから、私は指標木の写真を撮ったり、目視をしたりでいたい分かります。ドングリは“隔年堅果”で実をつけます。ドングリは一年豊作、翌年は少なく、という実り方です。

しかし、全部の木が一齐に“隔年堅果”ということはありません。ですから、今まではどうかドングリの量は確保できていたのですが、今季は極端に少なかったわけです。原因は何かと考えてみました。昨年の気候はどうだったかと・・・。

夏は凄まじい猛暑でした。宇部市は40日間 雨が降らなくて高温状態が続きました。

照葉樹林の椎の木とか欆の木は、春先から初夏にかけて白い花が一斉に咲きます。そこに蜂などが飛んできて受粉するわけです。そして、実ができますね。受粉する時期に猛暑・高温状態が続きますと、花は咲いても蜜が出ない。蜜が無いから蜂などが飛んで来ない。その結果、受粉は出来ない。実は結実しないとなるわけです。木は命を守ろうとして、水分(蜜も)を出さないようになります。だから、花は咲いても蜜は出ないという状況になるのだそうです。これは、養蜂家の方に聞いた話です。ですから蜜が集まらなかったと言われていました。

そういえば、ここ数年は猛暑といわれるようになりましたが、私の手元に20年間のデータがあり、ここ5、6年間のドングリの量と猛暑が重なります。ドングリの量が多い少ないで、オシドリも多い少ないになっていますね。餌になるドングリの量が、気象の関係で狂って来たのではないかという感じかも知れません。正式なデータを出すのなら気象データと合わせてみるといいのかもしれませんが、こういうことを専門に調べる人が出るといいですね。

☆ 野鳥観察についてのアドバイスをお願いします。

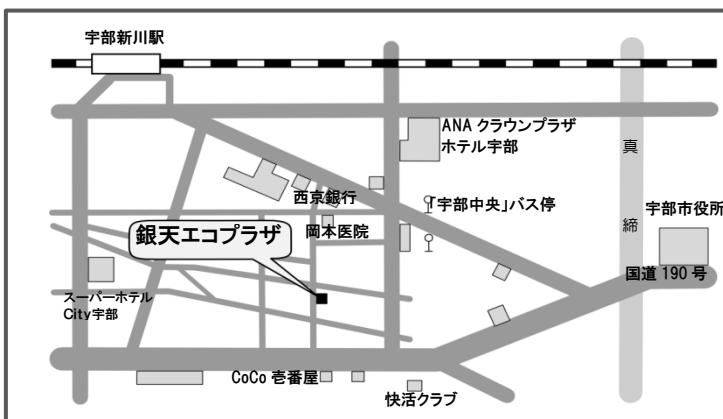
“鳥を観て環境を知る。環境をみて鳥を探す”どんな鳥が棲んでいるかは自然環境のバロメーターになります。野鳥観察は、このような心得をして出かけると、すごく愉しくなりますよ。『野鳥に会いに行く』の気持ちで出かけてください。

☆ 最後に小野湖の環境保護についてご意見をお聞かせください。

小野湖の水の中の環境を良くしていかなければと思います。「外来種魚」の駆除に力を入れて本来の小野湖の生体を維持してこそ、宇部市が誇れる湖と環境学習拠点になると思います。

☆メッセージ☆

「小野湖のオシドリは、もうこの時期は北の繁殖地へ旅立ちましたが、春の山は、野鳥の囀りが美しいです。そして山の良い香りがします。」と原田さんからメッセージを言付けられました。



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス ; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)